

事業所における自己評価結果（公表）

公表：2022年3月31日

事業所名 児童発達支援センター ガゼルの森

チェック項目		はい	いいえ	未回答	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	13	4	1	<ul style="list-style-type: none"> 活動に合わせて人数と場所を考えて設定している。 限られたスペースの中で事前に予約を取り合いの中で活動を考え行動している。 活動によって机をしまうなど広いスペースを取れるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 11～12人だと狭いと思う。動きのある子どもがいると危険を感じる。 クラスによって狭いと思うこともある。(2) 死角のない目の届く範囲という点では教室空間は最適。一方で、何か活動したい時には場所の確保が難しく、スペースが狭いと感じる時もある。 適切な所と適切ではない所がある。 クールダウンできるスペース(個室)が欲しい。
	2 職員の配置数は適切であるか	6	12	0	<ul style="list-style-type: none"> 職員も各部屋3人は配置しているため良いと思う。 必要に応じてフォローを頼んでいる。(2) 朝など看護師がサポートに入るなど工夫されている。 活動によって個別対応にしたり、グループに分けたりして工夫している。 現在のクラスでは最適。 	<ul style="list-style-type: none"> 法定であると理解しているが、実際には1～2人プラスすることによってより良い支援に繋がると思う。 法定人数では適切ではあるが、現場としては人数が足りないように感じる。それぞれに大変さは違うため、同じ人数で適切とは言えない。 個別に対応、課題取り組みには職員数配置不足を感じる。 休憩要員が必要と考える。 各クラス(子どもの人数に応じて)担任3名にプラス補助(時短勤務等)1人いると助かる。 事故・怪我が発生しやすい時間に人手が不足している時間がある。クラス職員が手厚い支援ができるようにフォローの人数が増えるとうい。 身体的支援を必要とするクラスに職員数が足りない気がする。 休みがいなければ適切だが、休みが出た時のフォロー体制が合っていないと感じる。 午睡の際に1名の児に職員が対応するため、午睡しない児も10分部屋で午睡を行っている。 より安全に細かく丁寧に子どもたちをみる為にはもう少し職員数を増やしてほしいと思う。 1学年一人の職員配置が適切だと思う。十分な活動できない時がある。 職員数はいるが配置を検討してほしい。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	14	3	1	<ul style="list-style-type: none"> 活動しやすい空間。(トイレが教室の近くにある、ロッカーの自分の場所がわかるなど) 部屋のつくりも、職員の環境づくりもわかりやすい。 子どもたちが生活しやすいようにイラストや写真を提示したり、自分の場所が分かるようにマークを付けたりしている。 視角支援ツールを使用し、より分かりやすく過ごすことができるようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> いつでも体を動かせる場所(ホール)が無い。 交代制だと大変な時がある。 パソコン作業をする際に入口にコードがある場合がある。机やごみ箱等の配置を工夫する必要がある。子どもが踏くと困る。 生活空間の中で視界への配慮のある環境がほしいように思う。 正面玄関が自由に開くため注意が必要に思う。 ふらつきがある子どもがいるため、トイレには手すりがあるとより安全だと思う。 園庭活動時、時計が見えにくく困る。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	15	3	0	<ul style="list-style-type: none"> 清潔に保つよう意識している。 3Sを心掛け、日々の清掃で清潔が保たれている。 清潔を保てるようにこまめに清掃するように心掛けている。 毎日整理整頓している。 活動に応じて配置を考えている。 日々設定を考えながら過ごしている。 	<ul style="list-style-type: none"> クールダウン等で部屋があるとより良い。 男女が同じトイレを使用することはあまり適切ではないが構造上仕方ないと思う。 清潔さはもう少し質を上げられるよう努力したい。(水回りなど) 換気が十分にできていない。
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	10	3	5	<ul style="list-style-type: none"> 会議や研修が定期的にあり振り返りができている。 職員会議や研修で目標設定や振り返りを行っている。参加できない職員には動画UP等で対応している。 職員の動きを見ると適切であると思う。 日々の振り返りを行い、翌日を迎えている。 	<ul style="list-style-type: none"> しようと努力するが非日常となってしまう。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	16	1	1	<ul style="list-style-type: none"> 面談等かかわりが無いためわからないが、職員の動きを見ると適切であると思う。 評価表を確認している。 毎年行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> わからない 保護者の事業所評価は行っている。 保護者の意向を受け入れ過ぎと感じる。保護者ファーストなのは分かる。職員体制は整っていない。
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	11	6	1	<ul style="list-style-type: none"> 面談等かかわりが無いためわからないが、職員の動きを見ると適切であると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 改善内容をHPで見たことはない。自分が見つけれないだけかもしれない。 わからない
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	13	4	1	<ul style="list-style-type: none"> スーパーバイザーによる外部評価がある。 	<ul style="list-style-type: none"> 業務改善に繋がっているとは思えない。
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	18	0	0	<ul style="list-style-type: none"> 園内研修が徹底的に開催され、後からビデオ視聴も可能なため、ほとんど参加し、知識を深めることができている。 今年度は月に1回以上のペースで各分野での研修機会がある。 月に1回の研修がある。日々の療育に繋げている。 スーパーバイザーによる研修がためになっている。 	
	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	17	1	0	<ul style="list-style-type: none"> 振り返りや家庭からの願いをもとに作成している。 個別支援計画作成の前に担任がアセスメントを行い、家庭にもアセスメントを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> 仕組みとしてはできているが自分自身が適切に行うに力不足を感じる。
11 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	15	2	1	<ul style="list-style-type: none"> 面談等かかわりが無いためわからないが、職員の動きを見ると適切であると思う。 アセスメントシートを使い3か月ごとに行っている。 		
12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	17	1	0			
13 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	17	1	0	<ul style="list-style-type: none"> 1枚の表に支援計画をまとめた物を作成し、クラス間ですぐに確認できるようにして支援している。 目標を書き留めておなどしている。 個別支援計画を確認し支援を行っている。 		
14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	13	4	1	<ul style="list-style-type: none"> クラスで相談し合って内容を決めている。 クラスで連携が取れている。 助言や提案をすることができている。 クラスで立案した後主任に相談している。 クラスで取り組みたい活動を検討している。 クラスに応じて他クラスとも連携し、一緒に取り組むことができた。 	<ul style="list-style-type: none"> 時間勤務のため主活動の立案に参加できていない。 クラス内で話し合う時間がなかなか取れず、一人の職員が中心となってプログラムを考えているため、今後はチームで考えられるようにしていきたい。 一人担任のため、活動のプログラムは一人で作成していた。 クラスで話し合いを行うが、現状では意見が上がりにくい一人で行っている。 	

適切な支援の提供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	16	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・違う視点から内容を変えてみたり、素材を変えてみたりしている。 ・毎日様々な活動を行い、子どもたちの反応を見ながら試行錯誤している。 ・「ちやれんじ・こうさく・おと・うんどろ・せいさく」等、項目を分けてプログラムされている。 ・1つの活動につき1回～2回の頻度になるように意識してプログラムを立案した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの状況に応じて日々話し合っ内容を変更する等しながら作成している。 ・クラス内で子どもたち、保護者、支援方法など、情報を共有し連携して行えるようにしている。 ・交流に行き様子を見ている。 ・個人に合わせて集団で過ごす時間と個別や少人数で過ごす時間を組み合わせることができた。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせることで児童発達支援計画を作成しているか	17	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・前日に話をしたり、出勤時クラスにいる職員に役割を毎日聞いている。(時短勤務) ・クラス内で子どもたち、保護者、支援方法など、情報を共有し連携して行えるようにしている。 ・開始時間や取り組み内容を確認している。 ・臨機応変に行動することができた。 ・午後の活動を他クラスと打ち合わせをしてから取り組むことができた。 ・療育内容は役割を確認し合っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・している部分もあるができていない部分もある。集団活動ができず仕方がなく個別になった際に集団を選けただけになりがちで気がつきたい。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	12	3	5	<ul style="list-style-type: none"> ・よく連絡を取り合っている。 ・気づいた点についてはその都度情報を共有している。(時短勤務) ・話し合いを行うことは難しいが、簡単に話をしている。 ・行事の振り返りはできた。 ・気づいた点はクラス内で振り返りを行いながら共有するようにしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・毎日に行っていない。気づいた時に話している。クラス全員で共有する時間を見つけていく。 ・時短勤務のためクラス職員同士での当日の打ち合わせはできない。 ・当日に活動が決まることもあり、事前の打ち合わせができない時もあった。 ・日々は行っていない。変則的な日程の際に行っている。 ・職員が集まる前に子どもが登園しているため、必ず打ち合わせができていないと言えない。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	10	6	2	<ul style="list-style-type: none"> ・頻繁に園外に出る様子を見かける。頑張っていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・頻りに行く職員とは振り返りができていない。後日している。 ・時短勤務のためクラス職員同士での当日の打ち合わせはできない。 ・少ない。高める必要がある。 ・毎日行っていない。 ・日々の活動を振り返ることは難しかった。 ・できている部分とできていない部分がある。 ・子どもの対応が16:00まであり、それ以降割り振られた業務があるため集まる時間を持つことができない。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	17	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・頻繁に園外に出る様子を見かける。頑張っていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・不足に思う。高めていく。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	17	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・半年に一度行っている。 ・話し合い見直している。 ・交流クラスの担任と情報共有しながら行っている。 	
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	16	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・頻りに園外に出る様子を見かける。頑張っていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現在は医療ケア児は在籍していないが、今後は専門職と関係機関で連携を取り支援していきたい。 ・クラスに医療ケアが必要な児がいない。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	16	0	2	<ul style="list-style-type: none"> ・頻りに園外に出る様子を見かける。頑張っていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・医療ケア児が在籍した場合には、まず保護者からの聞き取り、関係を築くことで医療機関とも連絡体制を整えていきたい。 ・クラスに医療ケアが必要な児がいない。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	14	2	2	<ul style="list-style-type: none"> ・頻りに園外に出る様子を見かける。頑張っていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・頻りに園外に出る様子を見かける。頑張っていると思う。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	11	0	7	<ul style="list-style-type: none"> ・頻りに園外に出る様子を見かける。頑張っていると思う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・頻りに園外に出る様子を見かける。頑張っていると思う。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	14	3	1	<ul style="list-style-type: none"> ・頻りに園外に出る様子を見かける。頑張っていると思う。 ・詳しく移行支援表を記入している。また、配慮点については支援方法を具体的に示している。 ・幼稚園に出向き子どもの引継ぎを行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・頻りに園外に出る様子を見かける。頑張っていると思う。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	15	3	0	<ul style="list-style-type: none"> ・詳しく移行支援表を記入している。また、配慮点については支援方法を具体的に示している。 ・主任やクラスの主任が学校に向出している。 ・移行書類や話す場がある。 ・毎年引継ぎを行っている。 ・進学前の引継ぎで情報共有をしている。 	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	9	6	3	<ul style="list-style-type: none"> ・スーパーバイザーからの助言や研修を受けている。 ・主任やクラスの主任が出向している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ過になり難しくなっている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	17	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・月予定に交流日を設けている。 ・保育部・支援部が交流する機会があり、決まった活動以外でも園庭などでお互いを意識し交流する場面を見かける。 ・保育部との交流がよくある。 ・保育部。 	<ul style="list-style-type: none"> ・他のこども園、幼稚園との交流を深めたい。職員の情報交換(活動の工夫など)を行ったらもっと幅広い保育や療育が行えると思う。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	4	9	5		<ul style="list-style-type: none"> ・参加したことが無いため、今後参加する機会があれば参加したい。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	17	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・送迎時に話す時間を設けたり、連絡帳を通して子どもの状況を伝え合うことができています。また、面談でも子どもの様子を伝え合っている。 ・保護者との情報交換を大切にしている。 ・送迎の際に伝え合っている。(2) 	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	11	3	4	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者から希望があった際に関係部署に報告している。 ・問題や困っている相談を受ければペアレント・トレーニングの研修情報を伝えたり、支援を行うことができています。 ・手紙等で講義のお知らせをしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・家族支援プログラムを行ったことが無いため、今後勉強していきたい。 	
32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	11	3	4			
33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	18	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・面談時に行っている。 		

保護者への説明責任等	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	17	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・必要があれば関係する機関や上司に相談している。 ・保護者からの相談を情報共有しすぐに対応できるようにしている。 ・面談や送迎時に保護者の方と話したり、毎日の連絡帳でのやり取りで悩みを聞いたりしていつでも相談しやすい環境作りをしている。 ・送迎の際に話を聞いている。 	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	9	7	2	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナウイルス感染症が終息し、活動が再開した際には支援できるように検討している。 	
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	18	0	0		<ul style="list-style-type: none"> ・現場が整っておらず、保護者からの要望に対応することが難しい時がある。(時間外のドライブスルーなど)
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	17	0	1	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスだよりはわかりやすいように工夫している。 ・行事予定表を発行したり、クラスだよりを発行している。(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスだよりはもう少し早いペースで発行したほうが保護者も子どもの状況がわかり安心すると思う。(特にコロナで保育参観がないため。)
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	18	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・個人名での配布物は2重チェックしている。 ・個人情報記載されている物は外部に絶対に持ち出さないように注意している。 	
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	18	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・クラスで話し合っている。 ・主任等へ相談しながら支援している。 ・成長を伝えながら困り感を聞いている。 	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6	9	3		<ul style="list-style-type: none"> ・コロナのため控えている。 ・コロナ過により難しい。 ・コロナの影響。 ・コロナで活動を自粛したり人数を制限しているため仕方がないと思う。 ・コロナの関係で十分にできていない。(2) ・コロナ対策のため、今は難しいが地域との関りは多いように感じる。 ・コロナが落ち着いてきたら再びできるようになると思う。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	18	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練や引き渡し訓練が定期的に行われている。(2) ・定期的に行われている。 ・防災訓練・コロナ対策を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・アクションカードについて訓練を重ねて活動できるようにしていきたい。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	18	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・月に一回必ず避難訓練を行っている。(2) 	<ul style="list-style-type: none"> ・救出の訓練は行っていない。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	18	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・全体で周知している。 ・保険名簿を作成し予防接種歴や既往歴の確認、把握をしている。 ・緊急時・災害時の内服も預かり名簿にチェックしている。 ・看護師が年度初めに説明してくれる。(2) 	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	16	1	1	<ul style="list-style-type: none"> ・アレルギー対応、解除には医師の指示書のもと行っている。アレルギー児対応マニュアル、日々の何重ものチェックにより提供されている。 ・看護師が年度初めに説明してくれる。 ・除去食、代替メニューを提供している。 	
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	11	6	1	<ul style="list-style-type: none"> ・事例の共有を行っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒヤリハットを記入する意識が薄くなっている。 ・事故・けがの報告はあるが共有はできていない。 ・事例集を見たことがない。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	15	2	1	<ul style="list-style-type: none"> ・研修を行い、対応が適切か見直しをしている。 ・事例について共有・話し合いを行った。 	<ul style="list-style-type: none"> ・研修機会は少ない。 ・保護者への対応についての研修で学んだ。虐待をテーマにした研修をもっと行ってほしい。 ・研修をやる時とやらない時がある。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	12	3	3		